

「藤岡市文化財保存活用地域計画（案）」に係るパブリックコメントの実施結果

1. 募集期間

令和6年12月2日（月）から令和7年1月10日（金）まで

2. 募集の方法

①郵送、②電子メール、③ファックス、④直接（窓口）持参

3. 募集結果

提出者数：2名 提出方法：電子メール2名

4. 意見の内訳

項 目		件数	意見
全 体		1件	意見①
序 章	1. 計画作成の背景と目的	0件	
	2. 計画期間	0件	
	3. 地域計画の位置付け	0件	
	4. 作成体制と作成の経緯	0件	
	5. 本計画における文化資源の定義	0件	
第1章 藤岡市の概要	1. 藤岡市の概要	0件	
	2. 社会的状況	0件	
	3. 歴史的概要	1件	意見②
第2章 藤岡市の文化資源	1. 指定等文化財	0件	
	2. 指定等文化財以外の文化資源	1件	意見③
	3. 世界文化遺産	0件	
第3章 藤岡市の歴史文化の特性		1件	意見②
第4章 文化資源に関するこれまでの把握調査	1. これまでの把握調査	0件	
	2. 把握調査の現状と課題	0件	
第5章 文化資源の保存・活用に関する将来像と方向性		0件	
第6章 文化資源の保存・活用に関する現状と課題	1. 現状	1件	意見②
	2. 課題	0件	
	3. 方針	0件	
第7章 文化資源の保存・活用に関する取り組み	1. 保存・活用に関する取り組み	4件	意見④～⑦
第8章 関連文化財群	1 関連文化財群設定の考え方	1件	意見⑧
	2 各関連文化財群のストーリー・方針・課題・取り組み	0件	
第9章 文化資源の保存・活用の推進体制	1. 計画の推進体制	0件	
	2. 緊急時の推進体制	0件	
	3. 計画の推進と進捗管理	0件	

5. 意見等、市の考え方及び対応状況

※寄せられた意見等の内容を整理し、意見等の概要を掲載しています。

該当箇所	全 体
意見①	図表や資料写真の出典の明示について。例えば第17 図（p. 27）は平井城下の復元図であるが、恥ずかしながら「素案」で初めて目にした。現在からは想像もつかない様子を非常に分かりやすく表現しており、優れた図であると思う。このような場合、もとなる資料や報告書等を図表付近に明示することで、市民にとっても行政にとっても価値ある情報の原典にアクセスしやすくなると考える。資料を写真で掲載しているもの（例としてp. 29 上州藤岡名勝寿語録、p. 31 藤岡瓦の製作風景、など）についても同様の考えから、所有・所蔵等が明示されているとよいと思う。
市の考え方	地域計画で使用している写真・図表類のほとんどが藤岡市で撮影・作成し、所蔵しているため、例言に「7. 藤岡市文化財保存活用地域計画で使用した図・写真などは、藤岡市教育委員会が所蔵している。」の一文を付け加えました。藤岡市所蔵でない写真・図表等にはキャプション横に出典を明示しました。

該当箇所	第1章 藤岡市の概要 3. 歴史的概要 ・ 第3章 藤岡市の歴史文化の特性 ・ 第6章 文化資源の保存・活用に関する現状と課題 1. 現状
意見②	中村堰の取り扱いについて。中村堰は、鬼瓦や高山社と同様に、小学校3・4 年生の社会科副読本で取り上げられている内容であり、藤岡市で小学校教育を受けた市民が知っているストーリーのひとつであると思われる。しかし、「素案」ではp. 30 の記述のみである。いくつか具体的に列記して、提案としたい。 ・ P. 32 「○農業用水と水田の拡張」の項目に、中村堰も改良されつつ使用され続けている旨の記述を挿入する。 ・ 第3章のまとめ（p. 49）で、関孝和、高山長五郎、堀越二郎の「藤岡市の三偉人」と並べて、孝順和尚と中村堰改良の功績を挿入する。これは、「モノづくり」という藤岡市の歴史文化の特性と矛盾するものではないと考える。 ・ 第6章のうち、藤岡市の学校教育課、小中学校での活動の現状についての項目（pp. 56-57）で、小学校4年生の社会科で中村堰を改良した孝順和尚を取り上げている旨の記述を追加する。
市の考え方	寄せられた意見に基づき、以下のように修正しました。 →p30 「○中村堰の改良」末尾に「現在も中村堰は改良され使用され続けています。」の一文を追加。 →p49 3章まとめ 1段落2行目 「発見をした関孝和、近代的な養蚕法・・・」→「発見をした関孝和、中村堰を作った孝順、近代的な養蚕法・・・」に修正。 →p 61 6章1 「④小学校4年生の社会科では、鬼瓦や中村堰などを用いた郷土学習を実施。」

該当箇所	第2章 藤岡市の文化資源 2. 指定等文化財以外の文化資源
意見③	p. 42「満福寺 十字窓石宮」とp. 43「○隠れキリシタン」の項目は、写真と説明の項目でページが分かれてしまっている。同一ページに配置するほうがより分かりやすくなるため、レイアウト検討をお願いしたい。
市の考え方	寄せられた意見に基づき、写真と説明項目を同一ページに配置するよう修正しました(p31)。

該当箇所	第7章 文化資源の保存・活用に関する取り組み 1. 保存・活用に関する取り組み
意見④	藤岡歴史館で体験学習などをもっと行ったほうが良い。
市の考え方	p 76・77 第7章 第13表 活用 取り組み「C-5一般向けイベントの開催」の記述があるため、本文は修正していません。体験学習などの取り組みを行っていきます。

該当箇所	第7章 文化資源の保存・活用に関する取り組み 1. 保存・活用に関する取り組み
意見⑤	デジタル博物館をもっと充実させてほしい。
市の考え方	p 76・77 第7章 第13表 活用 取り組み「C-29藤岡市デジタル博物館の拡充」の項目があるため、本文は修正していません。デジタル博物館を充実していきます。

該当箇所	第7章 文化資源の保存・活用に関する取り組み 1. 保存・活用に関する取り組み
意見⑥	文化財や高山社といった藤岡にまつわる様々なことを外に向かって発信した方が良い。
市の考え方	p 76・77 第7章 第13表 活用 方針「①成果を情報発信する」で情報発信のための取り組みについて記述があるため、本文は修正していません。情報発信を行っていきます。

該当箇所	第7章 文化資源の保存・活用に関する取り組み 1. 保存・活用に関する取り組み
意見⑦	文化財の保存や伝承のためボランティアを募ったらどうか？
市の考え方	p 78・79 第7章 第14表 継承 取り組み「D-4文化資源の語り部の育成」の記述があるため、本文は修正していません。ボランティアの育成等について検討を行っていきます。

該当箇所	第8章 関連文化財群 1 関連文化財群設定の考え方
意見⑧	第27 図 (p. 76) について、紫の線と文字が一致していない。赤と緑については線と文字が一致しているので、紫の線と文字の不一致には違和感がある。この内容は関連文化遺産群の位置付けであり、未指定文化財の把握や価値付け、テーマに沿った各機関との連携と多様な取り組みに関わる重要な点であるので、今一度確認をお願いしたい。
市の考え方	寄せられた意見に基づき、第27図 (p80) の線と文字の色を一致させました。